

平成27年10月27日記者発表資料

平成27年10月27日作成
企画管理部 財政課
担当：課長 清水 悟史
内線：2450

平成28年度の予算編成方針

標記方針について、本日、別紙のとおり各部（局）長宛てに通知します。

- 1 平成28年度の予算編成方針について（通知）
- 2 三木市創生の「5つの柱」
- 3 平成28年度当初予算収支フレーム（一般財源ベース）

三財第187号
平成27年10月27日

各部（局）長様

企画管理部長

平成28年度の予算編成方針について（通知）

標記編成方針について、下記のとおり定めたので、三木市財務規則第7条第1項の規定により通知します。

各部（局）長においては、下記方針を踏まえ、部（局）内で熟議の上で、予算を要求してください。

記

1 現在の財政状況等

平成26年度決算は、3年連続で赤字補てんのための基金を取り崩すことなく黒字となり、また、基金の残高も増加するなど、基金に依存しない財政体質への転換が進んでいます。

しかしながら、来年度の三木市を取り巻く財政環境は、ゴルフ場利用税の廃止が国で議論されるとともに、合併後10年を経過することから段階的に地方交付税が削減されるなど、国の動向によっては一般財源の大幅な減少が懸念されます。

これらの状況を踏まえ、次のとおり平成28年度予算編成方針を定めます。

2 平成28年度の予算編成方針

平成28年度の予算編成については、引き続き健全で持続可能な財政基盤の確立を図るとともに、「地方創生元年」である平成27年内に策定する「三木市創生計画総合戦略」を本格的に展開していくため、次に掲げる方針に基づき編成します。

(1) 重点政策経費

「しごと」を増やすことに着目し、別紙「平成28年度における三木市創生の『5つの柱』」に基づく施策に要する経費を「重点政策経費」と位置づけ戦略的に推進します。

(2) 通常経費

市税の減収等により財源不足額が見込まれるため、平成27年度当初予算の一般財源総額から2%を削減し、各部（局）に枠配分します。

ただし、通常経費についても、1件査定の対象となります。

(3) 赤字補填のための基金の取崩しゼロ

収支バランスを均衡させ、赤字補填のための基金の取崩しを昨年度に引き続きゼロとします。

(4) 事業の見直し

限られた財源の中、これまでの事業については、効果を十分に検証し、必要に応じて事業の転換や廃止・縮小などを行ってください。

また、各部（局）長においては、自らのマネジメントを発揮し、三木の創生のため活力あるまちづくりをめざした予算原案を作成してください。

3 提出期限 平成27年11月27日（金）

4 提出書類

予算要求関係書類（予算編成要領により別途通知）

5 提出先

財政課財政グループ 各担当（内線 2451、2452）

三木市創生の「5つの柱」

平成28年度は、三木の創生を本格的に展開していく一年となります。「しごと」を増やすことにより、人口減少に歯止めをかけることを目標に、5つの柱に基づく施策を戦略的に実施し、今住んでおられる方や、これからの世代の方々が豊かさを実感でき、多世代が共生して暮らしていけるまちづくりの実現に各部がそれぞれ連携しながら取り組みます。

- 1 若者や女性が魅力を感じる雇用の場やアメニティー豊かな憩いの場づくりを推進する
 - (1) 高速道路を活用した大型集客施設の誘致
 - (2) 高付加価値化などによる金物産業の振興、雇用を創出する農業の確立
 - (3) 本社機能等の誘致、国・県等の機関の誘致
- 2 女性の社会進出や子どもを産み、育てやすい子育て支援策を強化する
 - (1) 英語教育や基礎学力の向上、自立心を育てる教育の確立
 - (2) 妊娠期から出産、中学卒業まで成長にあわせ、サポートする三木版ネウボラの基盤づくり
- 3 緑が丘（オールドニュータウン）のまちの再生による高齢者が生き生きと「生涯活躍できるまち」を創る
 - (1) 住み替えの促進などによるオールドニュータウンの再生
 - (2) 高齢者と若い世代が共生していく新たなライフスタイルの構築
 - (3) 「生涯活躍のまち」構想の推進
- 4 三木市の魅力を戦略的に情報発信する
 - (1) 大きな公園や豊かな自然など、大都市近郊の「郊外地としての魅力」を発信
 - (2) 三木市ゴルフ協会と連携した「ゴルフのまち三木」のPR
- 5 人口減少社会の中で、くらしの質を維持する都市基盤の充実
 - (1) 公共施設や便益施設の集積等、生活水準を維持するコンパクトシティ化の推進
 - (2) エネルギーや環境に配慮したエコタウン化の推進
 - (3) 神戸電鉄粟生線の活性化

平成28年度当初予算 収支フレーム（一般財源ベース）

（単位：百万円、％）

区 分		28年度 予算編成方針 (a)	27年度 当初予算額 (b)	増 減	
				a-b (c)	c/b
歳 入	市税	10,910	11,060	△ 150	△ 1.4
	地方交付税	5,430	5,610	△ 180	△ 3.2
	ゴルフ場利用税交付金	597	637	△ 40	△ 6.3
	その他	3,360	3,360	0	0.0
	歳入合計 A	20,297	20,667	△ 370	△ 1.8
歳 出	人件費	4,520	4,610	△ 90	△ 2.0
	扶助費	1,897	1,858	39	2.1
	公債費	3,221	3,560	△ 339	△ 9.5
	義務的経費 小計 B	9,638	10,028	△ 390	△ 3.9
	繰出金	4,257	4,251	6	0.1
	通常経費	4,922	5,020	△ 98	△ 2.0
	重点政策経費	1,680	1,568	112	7.1
	その他経費 小計 C	10,859	10,839	20	0.2
歳出合計 (B + C) D	20,497	20,867	△ 370	△ 1.8	
財源不足額 A - D E	△ 200	△ 200	0	0.0	

※ 財源不足額（△200百万円）については、特定目的基金の取崩しにより対応